〒745−0034　周南市御幸通２丁目22
防長本社　Ｅメール　bocho@chugoku－np.co.jp
中国新聞山口　Ｅメール　chugoku@c－spice.co.jp
情報サービス　ＵＲＬ　http://www.c－spice.co.jp
☎0834(33)5605　FAX0834(33)5610

ホッと通信

にしゃんたのやまぐち日記

⑮

5/2 中国

歴史に埋もれた「功績」

スリランカ元大統領の演説

戦争は僕にとって遠い過去の話ではない。母国スリランカでは、反政府勢力との紛争に巻き込まれ、たくさんの若者が犠牲になりました。

僕は高校でラグビーをしていたけど、スリランカを離れて五年後に帰国したら、チームメートの半分が亡くなっていました。スリランカにずっといたら、もしかして僕もこの世にいなかったかもしれないんです。

実はスリランカと日本も、戦争という言葉でつながっていることが意外と知られていません。

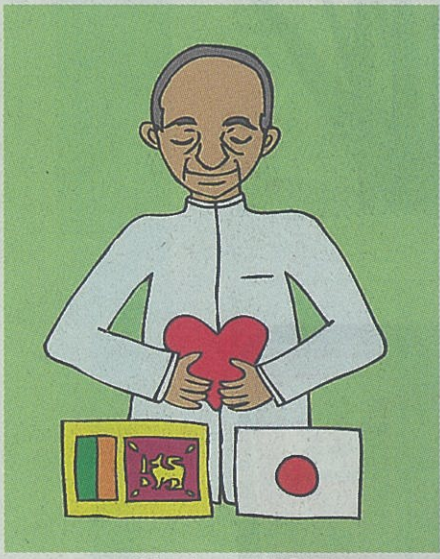
久しぶりに先日、帰国した際、このことを思い出したのです。連れて行った山口県立大の学生たちを一目見ようと、たくさんの現地の人が集まり、いろんな話に花を咲かせました。

「日本の桜の花はきれいか」「四季は面白いか」とか。そして途中で「J・R・ジャヤワルダナは、やっぱり日本では有名?」ってな質問も。それを聞いた日本の学生たちが「それ、何や。場所の名前?」

ジャヤワルダナは、スリランカの元大統領の名前です。なぜ、有名かというと、このスリランカ人の存在が、スリランカ人の日本に対する特別な思いにつながっているんです。

第二次世界大戦中の一九四二年四月、南雲忠一中将率いる日本軍が、ベンガル湾を越えて、当時イギリス領のスリランカのコロンボ北部とトリンコマリー湾とを爆撃したことがあったんです。

日本が戦争に敗れ、五一年にサンフランシスコで開かれた講和会議に、スリランカ代表団として演説したのが、当時蔵相のジャヤワルダナさんでした。「憎しみは憎しみによってではなく、愛によって消える」というお釈迦様の言葉を引用して、スリランカの対日賠償請求権を放棄したんです。それと、日本の真の自由と独立の支持を参加国に求めたんです。このことは、スリランカで今でも語り継がれているんですよ。



イラスト・石井彩子

元大統領の話には続きがあって、日本の国鉄がJRと名称変更した時、日本が感謝の意を込めて、自分のイニシャルを用いたと誤解したんです。それで、親族一同を引きつれて、東海道新幹線でグリーン車の旅をしたということです。

僕が小さいころ、この賠償請求放棄の後、日本人はスリランカに親しみを感じ、感謝しているって聞かされました。でも、実際は、この歴史的事実を知っている日本人はかなり少ないように見えます。経済大国になって過去のことなどすっかり忘れてしまったのでしょうか。少なくとも現在ではスリランカの「片思い」になっています。

元大統領の半世紀前の演説は、国家や民族の違いを超えて、人は心を通じあえることを教えてくれました。日本とスリランカが友好と交流を深め、さらに相思相愛の関係で結ばれることを願ってやみません。

（県立大国際文化学部助教授　J・A・T・D・にしゃんた）

雪はこぶ北風変わりて西風に黄砂漂い桜花ほころぶ　片山　巖

七ヶ月の可愛い盛りの吾子逝きて五十回忌は今年となりぬ　岡　利代子

池の辺に白鷺一羽飛び来ては鯉を見下す首をのばして　中村美都江

鳥獣に異変が有りや野山に手付かずの柿雪中に熟す　上村　利夫

たまわりし絹肌布団にうずくまり眠る今宵の温み幸せ　永井瑠璃子

受け継ぎし命の流れ幸せを小さく生きて今日あるを信ず　西村　富子

隣室の話題ゆたかな高齢者難聴ありて共に高声　小木本スミヱ

思い出は遠い昔のはやり歌今もなつかし歌のしらべが　ヒロカネテルヲ

松の芽を切るは今年が最後かと吾をわびしむ常弱き身は　廣兼　忠司

俳　句

◆川下婦人句会（岩国市）

春の水分水嶺より清流す　有村　宣子

白魚の料理あります老舗宿　藤本　幸子

城山の城ぼんやりと霾ぐもり　上田　文女

ほつれ髪整え飾る古雛　二宮　夏江

島影の墨絵ぼかしに霾ぐもり　中村　律子

春風や見知らぬ人と声交

櫻咲き山の広
ろげ

捨て猫のこち
春の海

咲きいでていつ
諸葛菜

花筏岸のよど
り

カーテンの明
風光る

空を透く淡き桜
より

碑（いしぶみ）
ぶる花の雨

白梅のようにき
きし人

雨あがり雀にぎ
まり

キャラクタの歯
れ春の客

山丸ごとメルへ
花の雲

親友とビーズつ
宵

腕白の偵察うけ

梵字ひらひら
桜どき

川　柳

◆夫婦松川柳

お花見はだんご
愛でる

万歩計どうぞ我
みへ

石仏の地顔に母
う

日向ぼこ猫も
仲間入り

四捨五入収支
生譜